

逸翁本『大江山絵詞』をめぐって

酒天童子の物語と 千葉氏

2022 | 12 | 10 土

13:00 ▶ 16:15

千葉大学西千葉キャンパス
けやき会館大ホール

申込期間

2022年11月1日(火)から11月22日(火)まで

参加無料

募集人数:150名



参加申込はこちらから
千葉市立郷土博物館
043-222-8231

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。



伝 狩野孝信筆『酒天童子絵巻』(17世紀、東京国立博物館蔵)

🌸 講演1 🌸

逸翁本『大江山絵詞』の輪郭

講師:久保 勇 (千葉大学大学院人文科学研究院・准教授)

🌸 講演2 🌸

逸翁本『大江山絵詞』の伝来と千葉氏

講師:鈴木 哲雄 (都留文科大学教養学部・特任教授)

🌸 問い合わせ先

千葉市立郷土博物館
住所:〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1
電話:043-222-8231

酒天童子の物語と千葉氏

～逸翁本『大江山絵詞』をめぐる～

「酒天童子」(酒呑童子)の物語は室町・江戸時代を通して広く流布した鬼退治譚で、現代でもよく知られています。当話の源流に近い作品が逸翁美術館蔵『大江山絵詞』で重要文化財に指定されています。現在は『逸翁本』と称されていますが、同本は明治20(1887)年まで香取神宮の大宮司家(千葉県香取市)に所蔵され『香取本』と呼ばれていました。

まず、『逸翁本』の内容と成立についての問題点について、詞書を中心に日本文学研究の立場から概説し、武士の存在意義などについても考えていきます。また、講師の鈴木哲雄氏は『酒天童子絵巻の謎―「大江山絵詞」と坂東武士』(岩波書店、2019)で、逸翁本が千葉氏によって制作され伝来した可能性を提示されました。源頼光をはじめとする武士たちが都に災厄をもたらした酒天童子を退治する物語と「千葉氏」との繋がりについて考えます。

本講座では『逸翁本』をめぐる、「千葉氏」にとっての物語と歴史の問題について考えていきます。

講演1

逸翁本『大江山絵詞』の輪郭

講師:久保 勇(千葉大学大学院人文科学研究院・准教授)

『大江山絵詞』の詞書に関する注釈研究から、成立に関わるいくつかの問題点について取り上げます。武力に加え「辟邪の力」によって武士が異形の存在を討伐した物語であること、後代に源氏一族の神話化を担う作品として流布したこと等についても概説します。

講演2

逸翁本『大江山絵詞』の伝来と千葉氏

講師:鈴木 哲雄(都留文科大学教養学部・特任教授)

『続日本の絵巻』などに載る逸翁本『大江山絵詞』(酒天童子絵巻)の絵の見どころをスライドで紹介した上で、『逸翁本』の伝来と坂東武士、千葉氏との関わりについてお話しします。『逸翁本』の制作に千葉氏が関わったという私の仮説や別の考え方を紹介しつつ、『逸翁本』の成立や特徴について考えていきます。

【申込方法】

電子申請もしくは往復ハガキでお申込みください。お申込みの際にいただいた個人情報は、本講座以外に使用いたしません。

◇ 電子申請での申し込み

千葉市立郷土博物館ホームページ内の当該講座のページにあるリンクから電子申請によりご応募ください。



HPIはこちら

◇ 往復ハガキでの申し込み

往復用はがきに「講座名」「申請者氏名(フリガナ)」「郵便番号」「住所」「年齢」「電話番号」、返信用はがきに「返信用の宛先」を記入の上、以下の問い合わせ先の住所へお送りください。

- ・ 千葉市立郷土博物館
- ・ 住所:〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1
- ・ 電話:043-222-8231

【申込期間】

2022年11月1日(火)～2022年11月22日(火)

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

※往復ハガキでの申込は11月22日(火)

郷土博物館必着。

【アクセス】



JR 総武線「西千葉」駅下車、徒歩7分

(JR 総武線快速利用の場合は「稲毛」駅もしくは「千葉」駅乗り換え)

京成千葉線「みどり台」駅下車、徒歩7分